

別冊 2

熊本市健康増進計画
進捗管理資料

1 生活習慣の改善と環境づくり

取り組み項目	(2) 身体活動・運動の促進						
指標項目	1	日常生活における歩数の増加 (1日の歩数の平均値)	基準値		実績値	目標値	
			R5		R6	R17	
			20歳 ～ 64歳	男性	8,327 歩	8,005歩	9,000歩
				女性	5,768 歩		
			65歳 以上	男性	7,569 歩	7,169歩	8,000歩
				女性	5,396 歩		
	2	運動習慣者の増加 (1回30分以上の運動(ウォーキング等)を 週2回程度以上している市民の割合)	基準値		実績値	目標値	
			R5		R6	R17	
			39.4%		35.2%	45.0%	
	3	運動やスポーツを習慣的にしているこどもの 割合の増加 (週に3日以上運動習慣のある小学5年生の割 合)	基準値		実績値	目標値	
R3			R5	R17			
男子			54.0%	59.6%	増加傾向		
女子			37.0%	40.3%	増加傾向		
取り組み施策	概 要						
運動習慣の定着化 施策1 に向けた取り組み の推進	生活習慣病予防や健康増進のため、市民の運動習慣の定着を図る。						

1. 令和6年度の関係機関・団体における主な取り組み状況

具体的な内容等	
施策1	事業所向けセミナー(出前講座)の実施。【全国健康保険協会熊本支部】
	運動指導士による健康づくりのための運動に関する研修会、情報提供を実施。【熊本産業保健総合支援センター】
	熊本城マラソンのボランティアとしての活動【熊本市スポーツ推進委員協議会】

(参考) 関係機関・団体における感染症に配慮した取り組み

感染症に配慮したの 取り組み内容 ※再掲	各種大会を開催にあたり検温や指消毒、蜜を回避するような運営方法など感染対策を行っている【熊本市スポーツ推進委員協議会】
----------------------------	---

2. 令和6年度の行政における主な取り組み状況

具体的な内容等	
施策1	マラソンを通じたスポーツ振興と健康づくりに資するため、熊本城マラソンを開催した。
	運動機会の充実のため、市民総参加型の熊本市民スポーツフェスタを開催している。
	地域における健康増進のための環境づくりを推進するスポーツ推進員の資質向上のため、年一回研修会を開催している。
	地域の会議や健康教育などを通し、身体活動(生活活動、運動)や熊本健康アプリ等についての普及啓発
	地域における運動習慣の啓発
	校区単位の健康まちづくりでウォーキング大会を実施するなど、地域における運動習慣の啓発を実施
	すこやかくまもと栄養セミナー(食生活改善推進員養成講座)にて、健康運動指導士による運動の啓発を行った。
	骨粗鬆症予防教室にて、骨粗鬆症予防のための運動について、健康運動指導士が啓発を行った。
	「体を知る日」開催時、熊本健康アプリのダウンロードを促し支援した。また、開催日にはミッションポイントをつけた。
	市民が身近な場所で気軽に運動に取り組めるよう、メディカルフィットネス施設・スポーツクラブ等を記載した「くまもと運動資源マップ」を作成し、熊本市医師会会員へ配布した。
市民への運動・スポーツの啓発として、大人向け(運動についてのお話&血管年齢・体力測定会)と子ども向け(走り方教室&こどもトレーニング教室)の講座を親子向けイベントとして同時開催した。	
健康ポイント事業を共同運用する連携市町村が4自治体増え、計20市町村で運用した。地域と連携したGPSによるスタンプラリーや抽選会等を実施し、新規利用者の増加及び楽しみながら利用継続できるようアプリの機能改修や企画イベントの実施、地元特産品を賞品とするなどインセンティブの充実に取り組んだ。	

3. 令和7年度からの行政における新たな取り組み

具体的な内容等	
施策1	「ヘルシーライフチャレンジ」事業において、食後の運動を促す啓発を行う。

1 生活習慣の改善と環境づくり

取り組み項目	(3) 休養の促進					
指標項目	4	睡眠を十分にとっている市民の割合	基準値	実績値	目標値	
			R5	R6	R17	
				47.5%	47.1%	68.7%
	5	ストレスをためないよう気分転換を図っている市民の割合	基準値	実績値	目標値	
R5			R6	R17		
			42.5%	44.5%	65.7%	
取り組み施策	概 要					
施策1 「睡眠」の重要性の理解と実践	市民に睡眠や休養の重要性について正しい理解の普及啓発を図るとともに、職域保健と連携し、睡眠や休養に関する取り組みを推進する。					
施策2 休養がとれるための環境づくり	市民に休養のとり方やストレス対処法などについて情報提供を行うとともに、市民が悩みを相談できる環境整備を行う。					

1. 令和6年度の関係機関・団体における主な取り組み状況

具体的な内容等	
施策1	事業所向けセミナー(出前講座)の実施。【全国健康保険協会熊本支部】
	食生活改善推進員養成課程の特別講演会で、日本睡眠学会理事長久留米大学学長の内村直尚先生の「睡眠が健康に及ぼす影響」の講演を拝聴し、協議会会員が睡眠の年代にあわせた時間や健康との関連性を学ぶことができた。【熊本市食生活改善推進員協議会】
施策2	事業所向けセミナー(出前講座)の実施。【全国健康保険協会熊本支部】
	事業場を対象に個別訪問しメンタルヘルス教育を実施。ホームページやメールマガジンにて、ストレス対処法等の情報提供を実施。【熊本産業保健総合支援センター】

2. 令和6年度の行政における主な取り組み状況

具体的な内容等	
施策1	生活習慣病重症化予防事業の疾患リーフレットの健康的な生活習慣のポイントとして「睡眠・休養」について掲載した。
	校区民生委員児童委員協議会定例会、自治協議会などで情報提供。
	食生活改善推進員養成講座修了証書交付式の特別講演会において、修了生と推進員を対象に、日本睡眠学会理事長、久留米大学長の内村直尚氏の講演会を開催し、睡眠、休養の重要性について普及啓発を図った
	健康アプリを通じて、睡眠の重要性について情報発信を行った。

1 生活習慣の改善と環境づくり

取り組み項目	(4) 飲酒の抑制						
指標項目	6	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の減少 (1日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上の者の割合)	基準値		実績値	目標値	
			R6		R6	R17	
			男性	R7.11月以降算出		10.0%	
	女性			10.0%			
	7	20歳未満の者の飲酒をなくす 国参考値	基準値		実績値	目標値	
			R3		R3	R17	
			中学3年生	男子	1.7%	1.7%	0%
				女子	2.7%	2.7%	0%
			高校3年生	男子	4.3%	4.3%	0%
		女子	2.9%	2.9%	0%		
8	妊娠中の飲酒をなくす	基準値		実績値	目標値		
		R4		R6	R17		
		2.5%		2.4%	0%		
取り組み施策	概要						
施策1 相談支援の充実	飲酒量の低減に関する相談支援の充実を図る。						
施策2 適正飲酒の普及啓発	市民に飲酒に関する情報提供を行い、適正飲酒の普及啓発を図る。						
施策3 20歳未満の者への情報提供	市民や教育機関等と連携し、未成年者の飲酒防止教育を推進する。						
施策4 妊娠中や授乳中の飲酒の防止	市民に妊娠中や授乳中の飲酒について情報提供を行い、正しい理解の普及啓発を行う。						

1. 令和6年度の関係機関・団体における主な取り組み状況

具体的な内容等	
施策1	<ul style="list-style-type: none"> 加入者に特定保健指導を実施する中で、飲酒にかかる指導・情報提供を行った。【全国健康保険協会熊本支部】 事業所向けセミナー(出前講座)の実施。【全国健康保険協会熊本支部】
施策2	<ul style="list-style-type: none"> 加入者に特定保健指導を実施する中で、飲酒にかかる指導・情報提供を行った。【全国健康保険協会熊本支部】 事業所向けセミナー(出前講座)の実施。【全国健康保険協会熊本支部】
施策3	<p>学校薬剤師が各担当校にて薬物乱用防止教育の一環として、未成年者の飲酒の危険性について講演を行っている。【熊本市薬剤師会】</p> <p>6年体育科保健領域の病気の予防では、飲酒などの行為は健康を損なう原因になることを学習する。飲酒は、判断力が鈍る、呼吸や心臓が苦しくなるなどの影響が体にすぐ現れること、飲酒を長い間続けると肝臓などの病気の原因になること、また、低年齢からの飲酒は害が大きいことを学習している。【熊本市小学校校長会】</p>

(参考) 関係機関・団体における**感染症**に配慮した取り組み

感染症に配慮した取り組み内容 ※再掲	<ul style="list-style-type: none"> 学校薬剤師が各担当校の依頼にて、感染防止のための消毒、マスク、換気、うがいについて相談を受け、助言を行っている。また換気状況を把握するため、各学校にてCO₂濃度を測定し、換気の推進を行っている。【熊本市薬剤師会】
-----------------------	---

2. 令和6年度の行政における主な取り組み状況

具体的な内容等	
施策1	電話相談や依存症専門の医師、依存症専門相談員による個別来所相談を実施。(電話相談146人、来所相談25名)
	校区民生委員児童委員協議会定例会、自治協議会などで飲酒に関する情報提供を実施。
施策2	飲酒を含む依存症に対する普及啓発として、パンフレットの配布やホームページに掲載。また、市民向け講演会としてこころの健康づくり講演会(1回 参加者18人)、家族や当事者支援として、依存症家族教室(25回 参加者延189人)や依存症当事者グループプログラム(24回 参加者延43人)を実施。
	妊娠中、授乳中の女性や同居家族の喫煙が子どもに及ぼす影響について、親子(母子)健康手帳交付時に保健指導実施
	校区民生委員児童委員協議会定例会、自治協議会などで飲酒に関する情報提供を実施。
	市公式LINEを通じて適正飲酒についての情報発信を行った。
施策3	プレコンセプションケアとして、未成年の飲酒、喫煙の影響について健康教育を実施した。(第一学院高等学校 29名)
	小・中学校の薬物乱用防止教室の中で、未成年の飲酒の危険性、適正飲酒について情報提供・普及啓発を実施(5回 参加者延859人)。
	中学生を対象とした妊婦子育て講演会において、妊娠中や授乳中の飲酒の害について情報提供を行った
施策4	親子(母子)健康手帳交付時や訪問等の際に、妊娠中や授乳中の飲酒を行わないよう保健指導を実施
	親子(母子)健康手帳交付時に妊娠中の飲酒について情報提供・保健指導を実施
	母子健康手帳交付時や訪問等の際に、妊娠中や授乳中の飲酒を行わないよう保健指導を実施。

1 生活習慣の改善と環境づくり

取り組み項目	(5) 受動喫煙防止と禁煙の支援						
指標項目	9	たばこを吸わない市民を増やす	基準値	実績値	目標値		
			R5	R6	R17		
				68.6%	67.3%	増加傾向	
	10	COPDの認知度の向上	基準値	実績値	目標値		
			R5	R5	R17		
				59.4%	59.4%	80.0%	
	11	COPDの死亡率の減少	基準値	実績値	目標値		
			R2	R4	R17		
				13.7%	12.9%	10.0%	
	12	妊娠中の喫煙をなくす	基準値	実績値	目標値		
			R4	R6	R17		
				2.5%	2.3%	0.0%	
	13	20歳未満の者の喫煙をなくす 国参考値	基準値	実績値	目標値		
			R3	R3	R17		
			中学1年生	男子	0.1%	0.1%	0%
				女子	0.1%	0.1%	0%
			高校3年生	男子	1.0%	1.0%	0%
				女子	0.6%	0.6%	0%
	14	望まない受動喫煙の機会を有する者の減少	基準値	実績値	目標値		
			R5	R5	R17		
行政機関			6.9%	6.9%	望まない受動喫煙のない社会の実現		
職場			19.2%	19.2%			
飲食店			25.1%	25.1%			
医療機関			3.8%	3.8%			
家庭			17.9%	17.9%			
取り組み施策		概要					
施策1 禁煙の支援	イベントや学校、職場等においてたばこの害についての啓発を進めるとともに、禁煙支援薬局の拡充及び周知を行う。						
施策2 妊娠中・授乳中～20歳未満の者の喫煙防止	妊娠中、授乳中の女性や同居家族の喫煙が子どもに及ぼす影響について、親子(母子)健康手帳交付時に知識の普及に努めるとともに、学校における喫煙防止教育を推進する。						
施策3 受動喫煙防止	行政施設、事業所等での分煙や禁煙を推進するとともに、家庭での分煙等の普及・啓発を行う等、受動喫煙防止に取り組む。						

1. 令和6年度の関係機関・団体における主な取り組み状況

具体的な内容等	
施策1	臨床に於いて歯周病と喫煙の関係について説明し、禁煙を推奨する【熊本市歯科医師会】
	学校薬剤師が各担当校にて薬物乱用防止教育の一環として、未成年者の喫煙防止教育を行っている。【熊本市薬剤師会】
	(協会けんぽスモールチェンジに協力) 県歯科医師会と連携、協会けんぽスモールチェンジ生活支援プログラムにおいて、歯周病の最大のリスク因子である喫煙について、生活習慣病予防を目的とした歯科保健指導のなかで、禁煙指導を実施。【熊本県歯科衛生士会】
	加入者に特定保健指導を実施する中で、喫煙にかかる指導・情報提供を行った。【全国健康保険協会熊本支部】
	事業所向けセミナー(出前講座)の実施。【全国健康保険協会熊本支部】
	熊本県(脳卒中・心臓病等総合支援センター)との共催で企業向けセミナーを実施。【全国健康保険協会熊本支部】
	事業場の産業保健スタッフ等を対象に、喫煙の健康影響と禁煙支援、COPDの啓発等の研修を実施。【熊本産業保健総合支援センター】
6年体育科保健領域では喫煙などの行為は健康を損なう原因になることを学習する。喫煙は、せきが出たり心拍数が増えたりするなどして呼吸や心臓の働きに対する負担などの影響がすぐに現れること、受動喫煙による周囲の人々の健康にも影響を及ぼすこと、また、喫煙を長い間続けるとがんや心臓病などの病気にかかりやすくなることについて学習している。また喫煙・飲酒・薬物乱用防止教室の実施や各学年の発達段階に応じた教育を実施【熊本市小学校校長会】	

2. 令和6年度の行政における主な取り組み状況

具体的な内容等	
施策1	サロン等でCOPD・喫煙の啓発。(西区:12回 353名)
	地域の会議等を通して禁煙について啓発した。
	世界禁煙デーに合わせ、禁煙手帳や健康ポイントによる禁煙チャレンジを周知した。
	熊本市薬剤師会の協力のもと、禁煙支援薬局における相談受付を開始し、ホームページにて周知した。
	たばこの健康影響や、受動喫煙の問題、禁煙外来の活用についてホームページにて周知した。
施策2	親子(母子)健康手帳交付時や訪問等の際に、喫煙の及ぼす影響について保健指導を実施
	プレコンセプションケアとして、未成年の飲酒、喫煙の影響について健康教育を実施した。(第一学院高等学校 29名)
	親子(母子)健康手帳交付時に胎児や母乳への影響についての資料を配布し、保健指導を行う
	結婚・子育て応援サイトのQ&Aに妊娠期の過ごし方や健康管理について情報掲載
	親子(母子)健康手帳交付時、妊婦やその家族に喫煙者がいる場合、禁煙手帳を配布。
	中学生・高校生を対象とした母子交流会において、妊娠中、授乳中の女性や同居家族の喫煙が子どもに及ぼす影響について情報提供を行った。(西区: 10回)
	親子(母子)健康手帳交付時に喫煙が子どもに及ぼす影響について情報提供・保健指導
	妊娠中、授乳中の女性や同居家族の喫煙が子どもに及ぼす影響について、親子(母子)健康手帳交付時に保健指導実施
	幼児健診等の場を活用し、幼児へのタバコの影響について啓発した。(家庭での禁煙・分煙の勧め)
母子健康手帳交付時、妊婦やその家族に喫煙者がいる場合、喫煙の及ぼす影響について保健指導を実施すると共に、禁煙手帳を配布した。	
子どもや病気の人など配慮が必要な人が近くにいる場所では、喫煙しないようホームページにて周知した。	
施策3	繁華街等安全安心パトロールを行う中で、路上禁煙区域において路上喫煙をしている者に対し、注意・指導を行っている。
	幼児健診等の場を活用し、幼児へのタバコの影響について啓発を実施。家庭での禁煙・分煙の啓発を行った。
	新規開業した飲食店向けに受動喫煙防止対策に関する調査を実施し、受動喫煙防止対策パンフレットも送付した。
	受動喫煙防止対策専用コールセンターにて、受動喫煙に関する相談を受け付けた。

3. 令和7年度からの行政における新たな取り組み

具体的な内容等	
施策3	熊本市中心市街地で誰もが利用できる分煙施設を新たに設置する場合に、その設置費用を助成する事業を開始した。

2 生活習慣病の発症予防と重症化予防

取り組み項目	(1)がん予防等対策					
指標項目	15	75歳未満のがんの年齢調整死亡率の減少 (10万人当たり)	基準値	実績値	目標値	
			R2	R4	R17	
				126.4	123.4	減少傾向
	16	がん検診受診率の向上 (市が実施するがん検診のほか、職場検診、 人間ドック等を含む)	基準値	実績値	目標値	
			R5	R5	R17	
			肺	24.9%	24.9%	60%
			胃	35.3%	35.3%	60%
大腸			30.1%	30.1%	60%	
乳	55.7%	55.7%	60%			
子宮頸	58.8%	58.8%	60%			
取り組み施策	概要					
施策1 がん予防	がん検診の受診率向上、ワクチン接種の促進や、がんに対する正しい知識の普及啓発を行う。					
施策2 がん医療・がんと の共生	がんに関する治療法についての情報発信や相談支援に取り組む。					

1. 令和6年度の関係機関・団体における主な取り組み状況

具体的な内容等	
施策1	受診機会の喪失を防ぐべく、より効果的な受診勧奨を実施し、受診率向上を目指す。【熊本市医師会】
	節目検診、妊婦歯科健診などの折に口腔粘膜疾患を精査し、粘膜病変の早期発見に努める。【熊本市歯科医師会】
	(結核・ガン予防キャンペーンに参加) 熊本県総合保健センター主催の「結核・ガン予防キャンペーンヘルシーくまもと」に健康を守る婦人の会で参加。がん検診の受診率向上、がんに対する正しい知識の普及啓発を行う。【熊本県歯科衛生士会】
	加入者本人を対象に、特定健診にがん検診項目を加えた「生活習慣病予防健診」を実施。受診率の向上に努めた。【全国健康保険協会熊本支部】
	事業場の産業保健スタッフ等を対象とした、生活習慣病の予防、禁煙の健康影響に関する研修会を実施。【熊本産業保健総合支援センター】
	講習会等の中でがん検診受診の啓発を実施【熊本市食生活改善推進員協議会】
施策2	イベントで患者数が増加している大腸がんや乳がんを対象とし、モデルやパネルを利用し普及啓発を図った。合わせて特定健診の重要性も説明した。【東区代表】
	がん検診受診者を対象にわかりやすいがん啓発情報の発信。【熊本市医師会】
	事業所向けセミナー(出前講座)の実施。【全国健康保険協会熊本支部】
	労働者数50名未満の事業場を対象に定期健康診断の有所見者に対する医師の面接指導や保健指導等を実施している。【熊本産業保健総合支援センター】

2. 令和7年度からの関係機関・団体における新たな取り組み

具体的な内容等	
施策1	熊本市全大腸内視鏡検査の実施(予定)。【熊本市医師会】

(参考) 関係機関・団体における感染症に配慮した取り組み

感染症に配慮したの 取り組み内容 ※再掲	<ul style="list-style-type: none"> 受診者に対する感染リスクの注意喚起とともに感染状況を常に把握し、有効な対策を講ずる。【熊本市医師会】 従来通りのスタンダードプレコーションにて対応【熊本市歯科医師会】
----------------------------	--

3. 令和6年度の行政における主な取り組み状況

具体的な内容等	
施策1	肺がん・胃がん・大腸がん・乳がん・子宮頸がんの5つのがん検診及びピロリ菌感染の有無を調べる胃がんリスク検査を実施した。
	ホームページにて「がんを防ぐための新12か条」を周知した。
	がん対策企業等連携協定締結企業と連携し、がん検診パンフレット及び啓発カードを配布した。
	がん検診対象者へ個別受診勧奨はがきを送付した。 <ul style="list-style-type: none"> ・乳がん(41歳)、子宮頸がん(21歳)検診無料クーポン券及び検診手帳の送付 ・退職者世代(62, 66, 68, 70歳)へがん検診のお知らせを送付 ・胃がんリスク検査対象者の一部の対象者(41・45・49歳)へお知らせを送付 ・節目年齢の方(40・50・60歳)へ大腸がん郵送検診のお知らせを送付 ・乳がん(40～60代)、子宮頸がん(20～30代)ハイリスク世代の方へ受診勧奨はがきを送付 ・乳がん(40～50代)、子宮頸がん(20～30代)ハイリスク世代の方へ再受診勧奨はがきを送付 ・乳、子宮頸がん検診無料クーポン券対象者へ再受診勧奨はがきを送付
	市政だよりやSNS、ラジオ等によりがん検診の受診を啓発した。
	子宮頸がんワクチンのキャッチアップの接種について、未接種者への個別の通知、市長記者会見やSNSの活用等、様々な機会を活用して勧奨を行った。
	幼児健診や民児協会議等の地域組織、サロンや子育てサークル、地域のイベント等でのがん検診の受診勧奨実施。
	高齢者サロン、民協会議、自治協会議、社協ブロック会議、すこやか栄養セミナーを通して、がん検診の啓発を実施した。
	幼児健診の中で、保護者を対象にがん検診のリーフレットを配布し、啓発を実施した。(前年度から継続)
	すこやかくまもと栄養セミナー(食生活改善推進員養成講座)にて、がん発症を予防する為の生活習慣を啓発した。
施策2	校区民生委員児童委員協議会定例会、8020推進員・食生活改善推進員の育成講座、校区単位の健康まちづくりの取組等を通して、がんを早期発見するため検診の受診勧奨を実施。
	がん相談ホットラインを設置し専門相談員による相談・情報提供のほか、働き&子育て世代のためのがんサロンの定期開催や市民講演会等を開催し、がん患者とその家族、関係者へ相談支援・情報提供を行った。
	年間を通して市ホームページや市政だより、LINE等を活用し、がん相談支援センターやがん相談ホットライン、ピアランスクエア推進事業、緩和ケア、就労支援等の情報提供を行った。
	熊本県がん診療連携協議会の部会やがんサロンネットワークくまもと理事会等に参加し、相互に情報共有を行い、市民や関係者に対してのがんに関する情報発信を協力して行った。

4. 令和7年度からの行政における新たな取り組み

具体的な内容等	
施策1	がん検診対象者の79歳までの方全員に個別受診勧奨はがきを送付した。
	全大腸内視鏡検査の無償実施を開始。
施策2	子宮頸がんワクチンについて、新たに、保護者と学校等との連絡アプリを活用した周知を行う等、効果的な啓発・勧奨を実施する。
	40歳未満の末期がん患者やその家族の負担を軽減し、最期まで自宅で安心して療養生活を送れるよう、訪問介護や福祉用具の貸与などの介護サービスの利用料を一部助成する「若年がん患者在宅療養生活支援事業」を開始した。

※参考
熊本市がん検診受診率(全人口による算出) 職場健診、人間ドック等は含まず

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
肺がん	対象者数(全人口)	416,188	420,702	418,206	426,774	429,748	432,496	435,170	437,184	438,822	440,916	442,277
	受診者数	22,443	22,679	20,000	21,233	21,142	20,748	17,071	19,015	20,712	26,732	29,393
	肺がん受診率	5.4%	5.4%	4.8%	5.0%	4.9%	4.8%	3.9%	4.3%	4.7%	6.1%	6.6%
胃がん	対象者数(全人口)	416,188	420,702	418,206	426,774	429,748	432,496	435,170	437,184	438,822	440,916	442,277
	受診者数	9,904	9,477	8,658	8,952	8,930	10,596	9,972	11,205	11,607	11,914	12,520
	胃がん受診率	2.4%	2.3%	3.2%	3.0%	2.9%	3.4%	3.8%	4.0%	4.3%	4.5%	4.7%
大腸がん	対象者数(全人口)	416,188	420,702	418,206	426,774	429,748	432,496	435,170	437,184	438,822	440,916	442,277
	受診者数	22,194	22,512	18,108	19,763	21,817	21,725	19,781	22,436	22,139	23,048	24,029
	大腸がん受診率	5.3%	5.4%	4.3%	4.6%	5.1%	5.0%	4.5%	5.1%	5.0%	5.2%	5.4%
乳がん	対象者数(全人口)	228,879	231,220	230,316	233,702	235,310	236,738	238,142	239,202	239,874	240,929	241,535
	受診者数	14,183	11,491	9,287	10,199	13,282	14,403	13,137	13,783	13,789	14,946	16,057
	乳がん受診率	10.9%	10.6%	8.3%	8.1%	9.6%	11.4%	11.3%	11.0%	11.3%	11.7%	12.6%
子宮頸がん	対象者数(全人口)	318,399	318,762	319,447	317,810	318,049	318,096	318,681	318,596	318,783	319,115	319,472
	受診者数	23,530	16,973	13,095	17,949	20,534	24,275	24,258	27,009	25,747	27,449	28,648
	子宮頸がん受診率	13.0%	12.5%	8.9%	9.7%	12.0%	14.0%	15.2%	16.0%	16.5%	16.6%	17.5%

※胃がん・乳がん・子宮頸がん検診受診率=(該当年度受診者+前年度受診者-2年連続受診者)/対象者数(胃がんはH28年度以降)
※対象者数はOネット統計による住基人口で算出。H28年度対象者は国調ベース。

2 生活習慣病の発症予防と重症化予防

取り組み項目	(2)循環器疾患対策						
指標項目	17	脳血管疾患・虚血性心疾患の年齢調整死亡率の減少 (10万人当たり)	基準値		実績値	目標値	
			R2		R4	R17	
			脳血管疾患	男性	76.9	79.7	減少傾向
				女性	45.4	43	
			虚血性心疾患	男性	170.6	172	
	女性	99.5		115			
	18	血圧が正常域の者の増加	基準値		実績値	目標値	
			R4		R6	R17	
			52.3%		54.1%	増加傾向	
	19	脂質(LDLコレステロール)高値の者の減少 (LDLコレステロール160mg/dl以上の者の割合)	基準値		実績値	目標値	
			R4		R6	R17	
			男性	8.7%	8.2%	6.5%	
			女性	13.5%	13.0%	10.1%	
	20	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少	基準値		実績値	目標値	
			R4		R5	R17	
該当者			19.6%	20.1%	25%減少		
予備群	12.5%	12.2%					
21	特定健康診査の実施率・特定保健指導実施率の向上	基準値		実績値	目標値		
		R4		R5	R17		
		診査受診率	29.9%	30.8%	46.0%		
		指導実施率	11.9%	15.5%	29.5%		
取り組み施策	概 要						
施策1 発症予防	循環器疾患の危険因子とその予防に関する知識の普及や技術の啓発を図る。						
施策2 早期発見	特定健康診査・特定保健指導実施率の向上、生活習慣病の早期発見・早期治療に努める。						
施策3 重症化防止	健診結果等により、受診勧奨レベルにある方や治療中断者に対して、受診勧奨を行う。						
施策4 推進体制の整備	市民への啓発を進めるため、医療機関や医療保険者、事業所の健康管理者等との連携を図る。						

1. 令和6年度の関係機関・団体における主な取り組み状況

具体的な内容等	
施策1	事業所向けセミナー(出前講座)の実施。【全国健康保険協会熊本支部】
	すこやか食生活改善講習会の開催(調理実習を通して、一食分の適量の確認、食塩量、野菜量、組み合わせ等の確認を実施)【熊本市食生活改善推進員協議会】
施策2	35歳以上の被保険者を対象に、特定健診にがん検診項目を含む「生活習慣病予防健診」を実施。6年度受診率は65.8%【全国健康保険協会熊本支部】
	40歳以上の被扶養者を対象に特定健診を実施。6年度受診率は26.1%【全国健康保険協会熊本支部】
	事業所毎に健診受診率、特定保健指導実施率等の目標値を掲げる健康宣言を推進。6年度末時点で宣言を行った事業所数は約3,300事業所。【全国健康保険協会熊本支部】
	脳卒中、心疾患、肝疾患等をもつ労働者が治療を受けながら働いていくことができる環境づくりを目的とした「治療と仕事の両立支援」について研修を開催。また両立支援相談窓口を開設し、相談対応する。【熊本産業保健総合支援センター】
	50人未満の事業場においては、健康診断後の有所見者に対する医師の面接指導を地域産業保健センターにて支援を実施している。【熊本産業保健総合支援センター】
	労働安全衛生法に基づく定期健康診断の確実な実施の履行確保【熊本労働基準監督署】
施策3	熊本県委託事業『令和6年度自然に健康になれる食環境整備に係る「美味しく減塩！県民運動」啓発業務』の実施。啓発チラシの配布と説明。塩分測定器「減塩君」による世帯の汁物の塩分濃度測定(344回、1160人実施)【熊本市食生活改善推進員協議会】
	各薬局で検査データの説明、相談を受けたときに医療機関の受診が必要と思われる方への受診勧奨を行っている。【熊本市薬剤師会】
	収縮期血圧160mmHg以上、拡張期血圧100mmHg以上、空腹時血糖126mg/dL以上もしくはHbA1c6.5%以上、LDLコレステロール180mg/dL以上の医療機関未受診者に受診勧奨を実施。【全国健康保険協会熊本支部】
	心房細動の所見ありの医療機関未受診者に受診勧奨を実施。【全国健康保険協会熊本支部】

2. 令和7年度からの関係機関・団体における新たな取り組み

具体的な内容等	
施策1	日常臨床や節目検診等の時に歯周病と循環器疾患との関連を啓発【熊本市歯科医師会】

(参考) 関係機関・団体における感染症に配慮した取り組み

感染症に配慮した取り組み内容 ※再掲	・従来通りのスタンダードプレコーションにて対応【熊本市歯科医師会】
-----------------------	-----------------------------------

3. 令和6年度の行政における主な取り組み状況

具体的な内容等	
施策1	民児協会議等の地域組織、高齢者サロンや子育てサークル、地域のイベント等で特定健診や高血圧症等の循環器疾患について啓発実施
	校区民児協定例会、8020推進員・食生活改善推進員の育成講座、校区単位の健康まちづくりの取り組みを通して、循環器疾患の予防等に関する情報提供を実施 ・令和6年度地域における循環器疾患の啓発実績 西区(27回 454人)
	幼児健診時等の待ち時間を活用した啓発動画視聴による健康情報の発信
	まちづくり推進経費を活用した動画による西区健康課題の区民への周知及び若い世代からの予防に関する普及啓発(血管年齢測定)を実施 ・動画再生回数:762回(R7.3月末時点) ・血管年齢測定:7回 277人
	池田校区の住民を対象に「高血圧予防」の食事に関する講話を実施。
	地域における生活習慣病予防の啓発
	民児協会議等の地域組織、高齢者サロンや地域のイベント等で高血圧症等の循環器疾患について啓発実施
	with children事業で、3歳児健診受診者で家庭の汁物の塩分測定を希望される方に測定キットを配布し、その結果をアンケートシステムにて回答してもらい、測定結果等を市ホームページに掲載した。
	すこやかくまもと栄養セミナー(食生活改善推進員養成講座)にて、循環器疾患の予防について啓発した。
	「健康ハートの日」「世界ハートの日」「脈の日」に合わせて熊本城天守閣のライトアップとSNSにおける情報発信、1階ロビーへのポスター展示を行った。
施策2	未受診者に対し、対象者像に合わせて、ハガキ・電話・SMSの方法を使い分けて受診勧奨を行った。
	健診受診者や保健指導利用者へ賞品を提供するキャンペーンを実施し、受診等を促した。
	特定健診実施率向上のため、年度途中加入者への受診券一斉発送を開始した
	校区民児協定例会、8020推進員・食生活改善推進員の育成講座、校区単位の健康まちづくりの取り組みを通して、循環器疾患の予防等に関し特定健診の受診を啓発
	地域における特定健診の啓発・受診勧奨
施策3	民児協会議等の地域組織、高齢者サロンや子育てサークル、地域のイベント等で特定健診の受診勧奨実施
	校区民生委員児童委員協議会定例会、8020推進員・食生活改善推進員の育成講座、校区単位の健康まちづくりの取組等を通して、循環器疾患の予防等に関する情報提供や特定健診の受診勧奨を行った。
施策4	国保重症化予防事業の対象者に対し、保健師や管理栄養士による保健指導や受診勧奨を実施
	特定健診結果からの受診勧奨対象者にLDLコレステロール180mg/dl以上、中性脂肪500mg/dl以上を追加し、受診勧奨を行った。
施策4	大学と連携し、大学が実施する循環器に関する市民公開講座を、熊本健康アプリを通じて市民に周知した。

4. 令和7年度からの行政における新たな取り組み

具体的な内容等	
施策2	健康体重キャンペーン(特定健診結果がBMI18.5～25未満の応募者に賞品を提供する)を実施し、受診と体重の適正化(肥満予防)を促す。
	各集団健診会場のポスターを作成し、区役所保健こども課の協力のもと、集団健診実施会場近隣校区の施設に掲示し、集団健診の実施率向上をはかる。
施策3	高血圧の受診勧奨対象者で希望者にPHRと連携できるアプリケーションを活用し、重症化を予防する。

2 生活習慣病の発症予防と重症化予防

取り組み項目	(3)糖尿病対策					
指標項目	22	糖尿病有病者の増加の抑制 (糖尿病治療薬内服中またはHbA1c6.5%以上の者の割合)	基準値	実績値	目標値	
			R4	R6	R17	
				13.4%	13.6%	減少傾向
	23	糖尿病治療継続者の増加 (特定健康診査でHbA1c6.5%以上の者のうち糖尿病のレセプトがない者の割合)	基準値	実績値	目標値	
			R4	R6	R17	
				23.1%	22.6%	減少傾向
24	糖尿病の合併症(糖尿病腎症)の減少 (糖尿病腎症の年間新規透析導入患者数)	基準値	実績値	目標値		
		R4	R6	R17		
			109人	98人	82人	
取り組み施策	概要					
施策1 発症予防	糖尿病の発症・重症化防止のため、糖尿病やその予防法について正しい理解(知識や技術等)の普及啓発を図る。					
施策2 早期発見	特定健康診査・特定保健指導実施率の向上、糖尿病の早期発見・早期治療に努める。					
施策3 重症化防止	健診結果等により、治療が必要であるにもかかわらず医療機関未受診の方や治療中断者に対して、受診勧奨に努める。					
施策4 推進体制の整備	特定健康診査受診や医療継続の必要性について啓発を行う。地域における健康づくりの取組を充実させ、生活習慣の改善を図る。					

1. 令和6年度の関係機関・団体における主な取り組み状況

具体的な内容等	
施策1	日常臨床や妊婦検診、節目検診の折に歯周病と糖尿病との関連を啓発する【熊本市歯科医師会】
	事業所向けセミナー(出前講座)の実施。【全国健康保険協会熊本支部】
	食生活の見直しを図り糖尿病の予防に関する研修や、運動指導士による実技を取り入れた研修を開催。【熊本産業保健総合支援センター】
	すこやか食生活改善講習会の開催【熊本市食生活改善推進員協議会】
	ボランティア定例会において同じ食事を摂取し各人の血糖の上昇具合を時間ごと測定し実体験を実施し意識を高め啓発の動機を高めた。【東区代表】
施策2	子育てサークルやイベント等で飲料ペットボトルやスイーツに含まれる佐藤亮の説明を行い、普及啓発を図った。【東区代表】
	35歳以上の被保険者を対象に、特定健診にがん検診項目を含む「生活習慣病予防健診」を実施。6年度受診率は65.8%【全国健康保険協会熊本支部】
	40歳以上の被扶養者を対象に特定健診を実施。6年度受診率は26.1%【全国健康保険協会熊本支部】
	事業所毎に健診受診率、特定保健指導実施率等の目標値を掲げる健康宣言を推進。6年度末時点で宣言を行った事業所数は約3,300事業所。【全国健康保険協会熊本支部】
施策3	労働安全衛生法に基づく定期健康診断の確実な実施の履行確保【熊本労働基準監督署】
	各薬局にて特定健診や定期健診の結果を見せて頂き、医療機関受診勧奨や必要な助言を行っている。【熊本市薬剤師会】
	収縮期血圧160mmHg以上、拡張期血圧100mmHg以上、空腹時血糖126mg/dL以上もしくはHbA1c6.5%以上、LDLコレステロール180mg/dL以上の医療機関未受診者に受診勧奨を実施。【全国健康保険協会熊本支部】
	糖尿病等をもつ労働者が治療を受けながら働いていくことができる環境づくりを目的とした「治療と仕事の両立支援」について研修を開催。また両立支援相談窓口を開設し、相談対応する。【熊本産業保健総合支援センター】

2. 令和7年度からの関係機関・団体における新たな取り組み

具体的な内容等	
施策1	イベントを通し、東区民に糖尿病についてのインタビューやアンケートを実施し、健康増進カルタを作成。カルタ大会やイベントを通し、来客に予防についての意識を向上させ啓発を図る。【東区代表】
施策4	地域の保健所や商工会等の関係団体と連携し、地域における健康づくり事業(中小企業向け健康セミナー等)を推進する。【全国健康保険協会熊本支部】

(参考) 関係機関・団体における感染症に配慮した取り組み

感染症に配慮した の取り組み内容 ※再掲	・従来通りのスタンダードプレコーションにて対応【熊本市歯科医師会】
----------------------------	-----------------------------------

3. 令和6年度の行政における主な取り組み状況

具体的な内容等	
施策1	民児協会議等の地域組織、高齢者サロンや子育てサークル、地域のイベント等で特定健診の受診勧奨や糖尿病予防に関する啓発実施
	糖尿病予防教室や栄養セミナー、8020推進員養成講座で医師や栄養士等による糖尿病予防に関する講話を実施
	糖尿病予防教室の実施(医師、歯科衛生士、管理栄養士による講話及び計測(簡易血糖検査、体組成、血圧))
	校区民児協定例会、8020推進員・食生活改善推進員の育成講座、校区単位の健康まちづくりの取り組みを通して、糖尿病やその予防等に関する情報提供を実施。 ・令和6年度地域における啓発実績 西区(28回 1117人)※うち、12回 794人はベジチェック実施
	幼児健診で、保護者を対象に糖尿病予防の食生活のチラシを作成し、配布した。
	・推定野菜摂取量の測定(株式会社カゴメ製ベジチェック)と野菜摂取による血糖上昇の抑制について啓発。
	地域における糖尿病予防の啓発
	・糖尿病予防教室を開催し、糖尿病予防についての医師講話や、運動・食生活・口腔との関係などについて、正しい知識の普及等を行った。 ・校区単位の健康まちづくり事業において、随時血糖検査を実施し、高血糖者の早期発見、糖尿病患者の予防について啓発を実施
	幼児健診時、保護者向けに朝食の大切さとバランスの良い食事について啓発を行った。
	すこやかくまもと栄養セミナー(食生活改善推進員養成講座)にて、糖尿病の予防法について啓発を行った。
施策2	「体を知る日」を設定し、血圧測定や体組成測定、血糖測定、骨密度測定などを行い、「チャレンジシート」で予防的な生活習慣の目標を立て、肥満や糖尿病予防のための知識の普及や技術の啓発を行った。
	校区民生委員児童委員協議会定例会、8019推進員・食生活改善推進員の育成講座、校区単位の健康まちづくりの取組等を通して、糖尿病やその予防等に関する情報提供を実施。
	「世界糖尿病デー」に合わせ、本庁舎1階ロビーにて糖尿病予防に関する展示・熊本城天守閣ライトアップを行うとともに、SNS等での情報提供を実施した。
	幼児健診時等の待ち時間を活用した啓発動画視聴による健康情報の発信
	糖尿病の早期発見のため、校区民児協定例会、8020推進員・食生活改善推進員の育成講座、校区単位の健康まちづくりの取り組みを通して、特定健診の受診を啓発
	地域における特定健診の啓発・受診勧奨
	民児協会議等の地域組織、高齢者サロンや子育てサークル、地域のイベント等で特定健診の受診勧奨実施
	校区民生委員児童委員協議会定例会、8020推進員・食生活改善推進員の育成講座、校区単位の健康まちづくりの取組等を通して、特定健診の受診勧奨を実施。
	健康相談日を「体を知る日」として設定し、計測を行うことで自身の体を知る必要性を認識してもらい、受診勧奨を行った。

	国保重症化予防事業の対象者に対し、保健師や管理栄養士による保健指導や受診勧奨を実施
	特定健診結果から受診勧奨対象者に空腹時血糖126mg/dl以上、随時血糖200mg/dlを追加し、受診勧奨を行った。
	保険者データヘルスシステム・FBRツールで対象者を抽出し、HbA1c高値者や特定健診未受診者へ受診勧奨を行った。
施策3	生活習慣病重症化予防事業の対象者抽出に糖尿病性腎症重症化予防プログラムを活用した。
	国保特定健診受診結果から、熊本県糖尿病性腎症重症化予防プログラムにより抽出された対象者のうち未治療者等に対し訪問・電話・面接を行い受診勧奨や保健指導を実施
	国保重症化予防事業の対象者に対し、保健師や管理栄養士による保健指導や医療機関受診勧奨を実施
	糖尿病の要治療者に対して、保健師や管理栄養士による指導および受診勧奨を実施(文書・電話・訪問)
施策4	「北区民の血管を守ろうプロジェクト」の実施
	地域での会議やイベント等を通じて、特定健康診査の受診等について啓発を行った。
	「校区単位の健康まちづくり」事例発表会を実施し、地域の特性に応じた健康まちづくりの更なる活性化を図った。

4. 令和7年度からの行政における新たな取り組み

具体的な内容等	
施策1	世界糖尿病デーに合わせ、熊本大学と共催で街頭での啓発イベントを実施
施策3	糖尿病の治療域にある者を対象とし、持続血糖測定器による食事等の血糖値の変動やウェアラブル機器から得られた情報、本人の心拍数等をアプリケーションと連携させ、PHRとして可視化し、保健指導を実施するとともにアプリケーションで健康や生活習慣改善の情報発信により、糖尿病の重症化を予防する。
施策4	「ヘルシーライフチャレンジ」の実施

2 生活習慣病の発症予防と重症化予防

取り組み項目	(4)CKD対策				
指標項目	25	新規人工透析者数の減少	基準値	実績値	目標値
			R4	R6	R17
			260人	248人	200人
取り組み施策	概要				
施策1 発症予防	CKDの発症予防のためCKDやその予防法について正しい理解(知識や技術等)の普及啓発を図る。				
施策2 早期発見	腎機能を測るため、特定健康診査・特定保健指導実施率の向上のための対策を図り、早期発見・早期治療につなげる。				
施策3 重症化予防	CKD病診連携システムの効率的な運用を図る。栄養連携システムの周知を図る。				
施策4 推進体制の強化	関係医療機関や検診実施機関、市民団体、保険者、民間企業間の連携を強化する。地域における健康づくりの取組を充実させ、生活習慣の改善の継続を図る。				

1. 令和6年度の関係機関・団体における主な取り組み状況

具体的な内容等	
施策1	日常臨床や妊婦検診、節目検診の折に歯周病と糖尿病との関連を啓発し、糖尿病性腎疾患を予防する【熊本市歯科医師会】
	事業所向けセミナー(出前講座)の実施。【全国健康保険協会熊本支部】
	事業場の産業保健スタッフ等を対象に、CKDの危険因子である糖尿病や高血圧等に関する研修会を実施。【熊本産業保健総合支援センター】
	すこやか食生活改善講習会の開催【熊本市食生活改善推進員協議会】
施策2	各薬局にて特定健診や定期健診の結果を見せて頂き、医療機関受診勧奨や必要な助言を行っている。【熊本市薬剤師会】
	35歳以上の被保険者を対象に、特定健診にがん検診項目を含む「生活習慣病予防健診」を実施。6年度受診率は65.8%【全国健康保険協会熊本支部】
	40歳以上の被扶養者を対象に特定健診を実施。6年度受診率は26.1%【全国健康保険協会熊本支部】
	事業所毎に健診受診率、特定保健指導実施率等の目標値を掲げる健康宣言を推進。6年度末時点で宣言を行った事業所数は約3,300事業所。【全国健康保険協会熊本支部】
	労働安全衛生法に基づく定期健康診断の確実な実施の履行確保【熊本労働基準監督署】
	熊本県委託事業「令和6年度自然に健康になれる食環境整備に係る「美味しく減塩！県民運動」啓発業務」の実施。啓発チラシの配布と説明。塩分測定器「減塩君」による世帯の汁物の塩分濃度測定(344回、1160人実施)【熊本市食生活改善推進員協議会】
施策3	収縮期血圧160mmHg以上、拡張期血圧100mmHg以上、空腹時血糖126mg/dL以上もしくはHbA1c6.5%以上、LDLコレステロール180mg/dL以上の医療機関未受診者に受診勧奨を実施。【全国健康保険協会熊本支部】
	CKDハイリスク者への受診勧奨を実施。【全国健康保険協会熊本支部】
	食生活の見直しを図り糖尿病からのCKD予防に関する研修や、運動指導士による実技を取り入れた研修を開催。【熊本産業保健総合支援センター】

2. 令和7年度からの関係機関・団体における新たな取り組み

具体的な内容等	
施策2	労働安全衛生法に基づく定期健康診断の確実な実施の履行確保【熊本労働基準監督署】

(参考) 関係機関・団体における感染症に配慮した取り組み

感染症に配慮した取り組み内容 ※再掲	・従来通りのスタンダードプレコーションにて対応【熊本市歯科医師会】
-----------------------	-----------------------------------

3. 令和6年度の行政における主な取り組み状況

具体的な内容等	
施策1	民児協会議等の地域組織、高齢者サロンや子育てサークル、地域のイベント等でCKDに関する啓発実施
	校区民児協定会、8020推進員・食生活改善推進員の育成講座、校区単位の健康まちづくりの取り組みを通して、CKDやその予防等に関する情報提供を実施。 ・令和6年度地域における啓発実績 西区(17回 532人)
	地域におけるCKD予防に関する啓発
	地域の会議等で、CKDについての啓発を実施
	幼児健診時、保護者向けに朝食の大切さとバランスの良い食事について啓発を行った。
	校区民生委員児童委員協議会定例会、8020推進員・食生活改善推進員の育成講座、校区単位の健康まちづくりの取組等を通して、CKDやその予防等に関する情報提供を実施。
	「体を知る日」を設定し、血圧測定や体組成測定、血糖測定、骨密度測定などを行い、「チャレンジシート」で予防的な生活習慣の目標を立て、知識の普及や技術の啓発を行った。
	各区保健子ども課が健康まちづくりの取組の中でCKD予防について啓発を行った
熊本県腎臓病療養指導士連絡協議会など営家団体と協働による啓発を行った	
施策2	国保重症化予防事業の対象者に対し、保健師や管理栄養士による保健指導や受診勧奨を実施
	生活習慣病重症化予防事業の対象者として、蛋白尿(±)かつ尿潜血(+)以上またはeGFR45以上60未満、蛋白尿(-)かつeGFR45以上60未満を追加し、文書等による受診勧奨を行った。
	校区民児協定会、8020推進員・食生活改善推進員の育成講座、校区単位の健康まちづくりの取り組みを通して、特定健診の受診を啓発
	幼児健診で、妊娠中に尿糖(+)、または尿たんぱく(+) の保護者(職場健診等の機会がない方)を対象に、尿検査キット配布 ・有所見者:1名(CKD病診連携医を受診し腎臓専門医へ紹介)
	地域における特定健診の啓発・受診勧奨
	国保重症化予防事業の対象者に対し、保健師や管理栄養士による保健指導や受診勧奨を実施
	国保の重症化予防対象者への家庭訪問において、特定保健指導対象者に対し、目標をたてるなど動機づけ支援を行った。 特定健診・特定保健指導の受診について、様々な機会を捉えて啓発を行った
施策3	国保特定健診受診結果から、熊本県糖尿病性腎症重症化予防プログラムにより抽出された対象者のうち未治療者等に対し訪問・電話・面接を行い受診勧奨や保健指導を実施
	CKDプロジェクト会議において、病診連携に係る紹介状様式の見直しを行った かかりつけ医説明会において、病診連携システム・栄養連携システムの周知を行った
施策4	CKD対策推進会議の対面開催を5年ぶりに再開し関係団体が一堂に介して取組の共有を行った。

3 健康になれるコミュニティづくり

取り組み項目	(1) 校区単位の健康まちづくり				
指標項目	26	健康まちづくりに取り組む校区数の増加 (校区のめざす姿を決定したまたは確認した 校区数)	基準値	実績値	目標値
			R5	R6	R17
			69校区	72校区	92校区
指標項目	27	「健康づくりに取り組んだ」回数の増加 (地域において健康づくり活動を実施した回 数)	基準値	実績値	目標値
			R5	R6	R17
			96回	245回	増加傾向
取り組み施策	概要				
施策1 健康まちづくり の推進	「熊本市健康まちづくり活動方針」に基づき、地域の特色に応じた健康まちづくり の活動を推進する。				

1. 令和6年度の関係機関・団体における主な取り組み状況

具体的な内容等	
施策1	区民祭り等に参加し歯科疾患の啓発に努める【熊本市歯科医師会】
	東区健軍商店街の健康フェスタに参加し、薬剤師会ブースにて健康やお薬の相談を受けている。 【熊本市薬剤師会】
	(歯の祭典への参加) 市歯科医師会主催2023歯の祭典に歯科衛生士コーナーを出展、地域住民を対象に歯科啓発を 実施。【熊本県歯科衛生士会】
	(東区民祭りまつりに参加) けんぐん食と健康まつりに歯科コーナーを出展、地域住民を対象に歯科に関する質問・相談など 受け、歯科啓発を実施。【熊本県歯科衛生士会】
	(笑顔ヘルCキャンペーン参加) 笑顔ヘルCキャンペーンに歯科コーナーを出展、地域住民を対象に歯科に関する質問・相談など 受け、歯科啓発を実施。【熊本県歯科衛生士会】
	(マスコミによる啓発) 「熊本シティFM健康サロン」に出演、歯・口腔の健康に関する普及啓発を行う。【熊本県歯科衛生 士会】
	(熊本市健康フェスティバルに参加) 熊本市健康フェスティバルにお口の健康コーナー、在宅コーナーを出展、地域住民を対象に歯 科に関する質問など受け、歯科啓発を実施。【熊本県歯科衛生士会】
	(いきいき未来のつどいに参加) テーマ「自然災害」いきいき未来のつどいで、健康相談・災害時の命を守る口腔ケア・唾液腺マッ サージなどを指導【熊本県歯科衛生士会】
	(市民公開講座の開催) 家庭でできる「食育」セミナー「食べることは生きること」～賢く食べて歯を衛ろう～ を開催。栄養を摂るには口腔が重要であることを講演してもらう。【熊本県歯科衛生士会】
	(花畑健診に協力) 協会けんぽ加入者40～70歳の被扶養者に対し口腔内審査の記録を実施。【熊本県歯科衛生士 会】
	スポーツを通して親子をはじめとする家族のふれあい及び地域住民の交流を推進している【熊本 市スポーツ推進委員協議会】
	本市生涯スポーツの振興を図るために親子スポーツ大会を実施している【熊本市スポーツ推進委 員協議会】
	校区で実施される健康まちづくりのイベントに協力した【熊本市食生活改善推進員協議会】
	1ボランティア会員が、必要とする東区の校区に出向き、高齢者サロンや通いの場、イベント等でフ レイル予防・認知症予防のための活動を行った。 2託麻・長嶺合同体育大会において、体力測定実施、観客一同と一緒に体操を実施した。【東区 代表】

(参考) 関係機関・団体における**感染症**に配慮した取り組み

感染症に配慮した の取り組み内容 ※再掲	<ul style="list-style-type: none"> ・従来通りのスタンダードプレコーションにて対応【熊本市歯科医師会】 ・各種大会を開催にあたり検温や指消毒、蜜を回避するような運営方法など感染対策を行っている【熊本市スポーツ推進委員協議会】
----------------------------	---

2. 令和6年度の行政における主な取り組み状況

具体的な内容等	
施策1	健康づくりに取り組んだ回数:25回
	地域組織や会議等で健康まちづくり事業の説明や健康課題を共有した。
	校区自治協議会を母体とした「健康づくりを考える組織」と連携しながら推進 健康づくり部会等地域組織へ校区カルテ・KDBシステム等を活用して健康に関するデータや健康課題を共有し、活動の方向性を話しあった。(個別訪問を含む)(西区 65回) 地域組織が開催するイベント時に健康チェックや啓発活動の協力を行った(24回 1079人)
	若い世代をターゲットに西区健康センター来所者に西区の健康課題や健康情報の発信を行い、健康意識の醸成を図っている。
	まちづくり推進経費を活用した動画による西区健康課題の区民への周知及び若い世代からの生活習慣病予防の啓発(血管年齢測定、骨密度測定の実施) ・動画再生回数:762回(R7.3月末時点) ※再掲 ・血管年齢測定:7回 277人 ・骨密度測定:8回 253人
	福祉課主催の西区地域包括ケアシステムのアクションプラン作成に向けた各包括圏域毎の会議に参加し、関係機関と地域の健康課題等の情報交換を行った。
	地域組織および関係機関と校区健康カルテ等を用いて校区の健康課題を共有
	健康まちづくり推進員協議会の活動支援(地域における健康づくり活動の支援、活動PR等)
	健康まちづくり推進員養成講座の開催
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域組織への働きかけ、趣旨説明、健康課題の説明等： 実施回数128回、21校区/21校区中実施 ・地域と健康づくりの取り組み:生活習慣病予防の説明やパネル展示、クイズ、資料の配布を行い健康づくりに関する情報提供を実施した。実施回数:47回、20校区/21校区中 実施
	健康まちづくり委員会をはじめ、校区自治協議会・民生児童委員協議会等地域組織および関係機関と校区健康カルテ等用いて校区の健康課題を共有した。
	北区健康まちづくりの取組みとして、「北区民の血管を守ろうプロジェクト」を開始。その取組みの中でヘルスリテラシーを向上させる目的で「体を知る日」を実施。
	健康まちづくりワーキング会議において、まちづくりセンターなど区内各課と連携し、地域の特性に応じた健まち促進について会議を実施。
健康まちづくり事例発表会・市民講演会を実施し、各区から特徴的な健康まちづくりの取組を1事例ずつ発表いただき、市民全体で共有する機会を設けた。	

4. 令和7年度からの行政における新たな取り組み

具体的な内容等	
施策1	「ヘルシーライフチャレンジ」事業で、正しい生活習慣の普及のための調査研究を企業と大学と行政で連携し行っている。 令和6年度に実施した健康まちづくり事例発表会・市民講演会の内容を冊子にまとめ、全校区及び区役所等に配布し、今回の発表校区の取組を共有することで健康まちづくりの活性化を図った。

3 健康になれるコミュニティづくり

取り組み項目	(2) 健康づくりを支えるボランティアの育成・支援				
指標項目	28	健康づくり推進に関するボランティア数等の増加 (食生活改善推進員及び8020推進員の会員数)	基準値	実績値	目標値
			R5	R6	R17
			997人	1,034人	1,200人
取り組み施策	概要				
施策1 ボランティア養成	食生活改善推進員や8020推進員などの健康づくりに関するボランティア養成に継続して取り組む				
施策2 ボランティア支援体制の充実等	食生活改善推進員や8020推進員の資質の維持・向上のため、継続的な支援を行う。				

1. 令和6年度の関係機関・団体における主な取り組み状況

具体的な内容等	
施策1	運動機能の充実の為の、市民総参加型の熊本市民スポーツフェスターを開催している【熊本市スポーツ推進委員協議会】
	食生活改善推進員養成講座の受講生の開拓や、養成講座での活動の実際の話やグループワークに参加し、行政が行う養成講座に協力した。【熊本市食生活改善推進員協議会】
	8020推進員が啓発時に、市民へ推進員の役割や活動内容を説明し、同時に推進員募集チラシを配布し、養成講座の周知を図った。【熊本市8020健康づくりの会】
	東区においてイベント・法人訪問、SNS等利用し「健康まちづくり推進員協議会」の募集を行った。入会した新会員の知識技術の向上を図るためイベント等に参加、意識の向上を図った。【東区代表】
施策2	地域における健康増進のための、環境づくりを推進するスポーツ推進委員の資質向上のため年一回研修会を開催している【熊本市スポーツ推進委員協議会】
	行政が開催する食生活改善推進員の研修会等に参加し、推進員がそれぞれ自己研鑽に励んだ。【熊本市食生活改善推進員協議会】
	本会主催及び各支部主催のスキルアップ研修会を、推進員の資質維持・向上のために多方面の講師を呼び開催した。【熊本市8020健康づくりの会】
	熊本城マラソンで「おもてなし隊」として、ランナーへ味噌汁の配布をした。【熊本市農業協同組合】
	士気の維持のためフォローアップ研修を1回/2カ月実施。【東区代表】

(参考) 関係機関・団体における感染症に配慮した取り組み

感染症に配慮した取り組み内容 ※再掲	各種大会を開催にあたり検温や指消毒、蜜を回避するような運営方法など感染対策を行っている【熊本市スポーツ推進委員協議会】
-----------------------	---

2. 令和6年度の行政における主な取り組み状況

具体的な内容等	
施策1	地域において高齢者の積極的な健康づくりや介護予防への取り組みとして「介護予防サポーター」を養成し、ボランティア活動を推進した。(サポーター数:450名(令和7年3月31日時点))
	熊本市役所各課および関係機関が実施する出前講座の一覧を作成・周知することで、ボランティア活動を支援している。
	健康まちづくり推進員養成講座の開催
	8020推進員養成講座を5区役所で開催し、100人が修了した。
	食生活改善推進員を5区役所で養成し、受講者80名で74名が必要単位を修得し、修了した。
	健康まちづくり推進員協議会の活動支援(地域における健康づくり活動の支援、活動PR等)
	熊本市8020健康づくりの会活動支援:推進員が自主的かつ円滑に活動できるように、会議等での助言や、相談支援等を行った。(会員数521人、支援回数延べ2,128回)
	食生活改善推進員への情報提供及び資質向上を目的とした研修会を5区役所と健康づくり推進課で行った。(45回、参加者1,380名)
	食生活改善推進員協議会の円滑な運営及び活動支援のため、会議における支援や面接・電話における支援等を5区役所と健康づくり推進課で行った。(会議83回1,593名、面接・電話527件)

3 健康になれるコミュニティづくり

取り組み項目	(3)企業・大学等の健康づくり活動の促進				
指標項目	29	企業、大学等での食育に関する講座の開催 件数	基準値	実績値	目標値
			R4	R6	R17
			3件	17件	40件
取り組み施策	概 要				
施策1 職場における健康づくり	職域と連携し、職場における健康づくりを推進する。				
施策2 産学公民の連携による健康づくり	大学や企業等と連携し、市民が健康づくりしやすい環境整備を図る。				

1. 令和6年度の関係機関・団体における主な取り組み状況

具体的な内容等	
施策1	事業所毎に健診受診率、特定保健指導実施率等の目標値を掲げる健康宣言を推進。6年度末時点で宣言を行った事業所数は約3,300事業所。【全国健康保険協会熊本支部】
	事業所向けセミナー(出前講座)の実施。【全国健康保険協会熊本支部】
	大学で、郷土料理の講習会を実施【熊本市食生活改善推進員協議会】
施策2	大学の学食での食育イベント(野菜計り)等を開催し、若い世代へ食育の重要性を啓発した。【熊本市食生活改善推進員協議会】
	大学や専門学校の学祭において、会のリーフレットを活用し、若い頃からかかりつけ歯科医を持ち、定期的な受診を勧めた。噛むことの重要性を含め、歯と口の健康づくりについての啓発活動を行った。【熊本市8020健康づくりの会】

2. 令和6年度の行政における主な取り組み状況

具体的な内容等	
施策1	「食品と健康」について、健康をつくるボランティア医師の会(けんつく会)の支援を受け、職員向け研修を実施
	九州森林管理局での肥満予防の栄養講話及び受診勧奨。(1回49人)
	17社のがん対策企業等連携協定締結企業において、企業等の従業員及びその家族へのがん予防及びがん検診の情報提供を実施。
施策2	大学生対象の健康づくりのワークショップ開催
	大学の学園祭で「健康ブース(歯たちの健診・がん検診受診勧奨等)」を設置し、若い世代の健康づくり啓発を実施
	コンビニや製菓企業、健診機関と連携したイベント開催
	東区健康まちづくり推進員協議会、県立大学、企業と連携した健康イベントの実施
	正しい生活習慣の普及のための調査研究を企業と大学と行政で連携し行うための話し合いを行った。
	CKD・循環器・糖尿病など各分野において熊本大学や医療機関と連携し、市民公開講座の広報や啓発など行った。
	大学、職域と連携し、健康づくりのための食生活について、「食育実践講座」を実施した。(17回、550人)
6月の食育月間に市民の野菜摂取量アップのための啓発事業として、食品関連事業者と連携し、「もっと健康！ やさいアップくまもと」を展開した。(市内223事業者協力)	

3. 令和7年度からの行政における新たな取り組み

具体的な内容等	
施策2	「ヘルシーライフチャレンジ」事業で、正しい生活習慣の普及のための調査研究を企業と大学と行政で連携し行っている。

3 健康になれるコミュニティづくり

取り組み項目	(4)こころの健康づくり				
指標項目	30	自殺者の減少(人口10万人当たり)	基準値	実績値	目標値
			R4	R5	R9
	31	ゲートキーパー養成者数の増加 (ゲートキーパー研修受講者数)	基準値	実績値	目標値
			R4	R6	R9
			2,168人	7,139人	3,168人 250人/年
取り組み施策	概要				
施策1 早期発見や啓発等	心の健康相談などを通して、うつ病の早期発見や早期治療につなげるとともに、市民への精神疾患についての啓発を行う。				
施策2 こどもたちのこころの健康	こどもたちのこころの健康保持とこどもたちを取り巻く関係者への児童思春期の精神保健等の理解の普及を図る。				
施策3 自殺対策	自殺対策として包括相談会や啓発等を行うとともに、関係者間の連携強化を図る。				

1. 令和6年度の関係機関・団体における主な取り組み状況

具体的な内容等	
施策1	熊本産業保健総合支援センターと連携した、同センターの職場のメンタルヘルス相談窓口の周知広報。【全国健康保険協会熊本支部】
	事業所向けセミナー(出前講座)の実施。【全国健康保険協会熊本支部】
	事業所の産業保健スタッフ等を対象に、メンタルヘルスケア関連及びストレスチェック制度導入等の研修会を開催。【熊本産業保健総合支援センター】
	事業所の要請による事業場への個別訪問を実施しメンタルヘルスに関する取り組み支援を実施。【熊本産業保健総合支援センター】
	自治会等会議、その他イベントへの参加をとおした、障害(精神障害)についての啓発があった : 熊本市障がい者相談支援センターウィズ【中央区代表】
	地域におけるメンタルヘルス相談対応した: 熊本市障がい者相談支援センターウィズ【中央区代表】
施策2	ウィズカフェ(地域向け啓発イベント)を実施して、近隣の放課後等デイ利用児やスタッフを招待し交流の場を提供した。【中央区代表】
	児童思春期のメンタルヘルスに関する相談対応した: 熊本市障がい者相談支援センターウィズ【中央区代表】
施策3	職場における自殺の予防と対応をテーマとした研修会の実施、並びに自殺予防に関する情報提供を実施。【熊本産業保健総合支援センター】
	希死念慮等のメンタルヘルス相談対応: 熊本市障がい者相談支援センターウィズ【中央区代表】

2. 令和7年度からの関係機関・団体における新たな取り組み

具体的な内容等	
施策1	協会けんぽ熊本支部との事業連携協定に基づきメンタルヘルス対策についてセミナーや周知広報を共同で実施している。【熊本産業保健総合支援センター】
	学校では、担任や養護教諭等による健康相談を計画的に行うとともに、必要に応じて学校医や学校歯科医、学校薬剤師による健康相談も計画・実施したり、SCやSSWの相談につないだり、外部の専門機関との連携も図るなど、課題の早期発見・対応に取り組んでいる。【熊本市小学校校長会】
	事業場におけるストレスチェックの確実な実施を監督指導【熊本労働基準監督署】
	「熊本こころの健康アドバイザー制度」の周知と利用勧奨【熊本労働基準監督署】
	障害者支援センターの広報誌にうつ病に関する記事を掲載し啓発を行う。【中央区代表】
施策2	5年体育科保健領域では、心の健康について学習する。心は発達すること、心と体は密接な関係があること、不安や悩みの対処について学習している。【熊本市小学校校長会】

3. 令和6年度の行政における主な取り組み状況

具体的な内容等	
施策1	熊本市内の中学校において、エイズ・性感染症に関する出前講座を実施した。(R6実績4校)
	心の健康相談を1回/月実施。(精神科医による予約制の個別の面接相談等)
	精神的問題や育児不安等を抱える妊産婦に、産科医療機関と連携し妊産中から訪問等の支援を実施。出産後も産後うつ等の産婦への訪問等を早期に実施し、切れ目のない支援を行っている。
	各校区の自治協・民協等の定例会において「心のケア」に関する相談先を周知(西区:9回 95人)。
	「心の健康相談」を実施し、市民の心の健康の保持増進を図った。(R6年度実績:8件)
	心の健康相談を0回/月実施。(精神科医による予約制の個別の面接相談等)
	・こころの健康相談を1回/月実施 ・民生委員会議において、こころの健康相談を通じた精神疾患の啓発を実施
心の健康相談実施	
施策2	R6年度からスクールソーシャルワーカーを21人体制で活動している。 R6年度のユア・フレンド登録者数225人。
	こどもの悩みや権利に関する相談に対し、こどもホットラインによる相談対応やNPO法人と連携した24時間365日相談可能なチャット相談を行い、解決に向けて取り組んだ。 精神的問題や育児不安等を抱える妊産婦に、産科医療機関と連携し妊娠中から訪問等の支援を実施。出産後も産後うつ等の産婦への訪問等を早期に実施し、切れ目のない支援を行っている。
施策3	精神障がい者地域生活移行支援部会等に参加し、情報交換を行った。
	障がい保健福祉ネットワーク連絡会や地域生活移行支援会議等に参加し、情報交換、事例検討会を行った。

4 ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり

取り組み項目	(1)こどもの健康づくり					
	32	肥満傾向にあるこどもの割合の減少 (小学校5年生の中等度・高度肥満傾向児の割合)	基準値		実績値	目標値
			R4		R6	R17
			男子	7.5%	6.80%	減少傾向
女子	3.8%	4.00%	減少傾向			
取り組み施策	概要					
施策1 こどもの心身の健やかな成長と生活習慣の確立	こどもの心身の健やかな成長を育み、健康的な生活習慣を身につけるため、健康支援や子育て支援の充実を図るとともに、保育所・幼稚園・学校等関係機関との連携強化に取り組む。					
施策2 母子の健康	妊娠期の心身の健康を保持、増進するために、妊婦健康診査の勧奨を行い、医療機関との連携を図るとともに、母子の健康増進に関する知識の啓発に努める。					

1. 令和6年度の関係機関・団体における主な取り組み状況

具体的な内容等	
施策1	乳幼児期の保育・食育に関わる保育士・栄養士・調理師等が一堂に介して学ぶ尚絅乳食育推進シンポジウムを開催した。(1月)【尚絅大学】
	県内の保育所等に勤務される保育士・栄養士等を集めて、尚絅乳幼児食育研究会を年5回開催。(食育の課題の共有、人気レシピの紹介、調理実習等)【尚絅大学】
	学校検診、学校保健会の折に歯科疾患についての理解を深めるべく指導を行う【熊本市歯科医師会】
	学校薬剤師が各担当校からの依頼により、学校保健委員会に参加し、健康教育への助言を行っている。【熊本市薬剤師会】
	(歯磨き巡回指導) 市歯科医師会受託事業「小学校歯磨き巡回指導」で、小学校児童を対象にむし歯予防の講話、指導を実施。【熊本県歯科衛生士会】
	(保育園での歯みがき指導) 保育園からの依頼で保育園に出向き、園児を対象にむし歯予防の講話、指導を実施。【熊本県歯科衛生士会】
	(子ども文化会館「歯の健康講座」) 幼児と保護者を対象に「子どもの健やかな成長のために」の講話と歯磨き指導を実施。【熊本県歯科衛生士会】
	加盟園保育関係者対象の「食育・アレルギー対応」分野のキャリアアップ研修の実施【熊本市保育園連盟】
	保育士会・給食部会による食育関連の合同研修会、各ブロック単位(東部・西部・南部・北部・中央)での研修会実施【熊本市保育園連盟】
	学校は、保護者と連携し、早寝・早起き・朝ごはん等基本的な生活習慣の定着に向けて取り組んでいる。【熊本市小学校校長会】
	こどもの健康の保持増進を図るために、学校三師、児童、職員、保護者、地域関係者で組織する学校保健委員会において研究協議し、保健活動の推進や充実に取り組んでいる。【熊本市小学校校長会】
	くまもと食育塾の坂本良子氏による講演会「子どもの体とこころを育てる気のある食事」を植木小で開催。古典医学に基づく「食は薬」の考え方を基に、朝食の大切さや五味のバランス、発酵食品・旬の食材の活用法を学んだ。【熊本市PTA協議会】
	こどもの食育推進ネットワークにおいて、保育園等の施設と連携し、食育推進のためのイベント等に協力した。【熊本市食生活改善推進員協議会】
	地域の子育てサークルや、保育園・小中学校での歯みがき教室などで、子どもの身心の健康は口の健康からと、むし歯や歯周病予防、歯並び・顎の発達や肥満の予防にも歯むことは大事だと、重要性を伝えた。【熊本市8020健康づくりの会】
子ども食堂への野菜の提供を行った。【熊本市農業協同組合】	
「あぐりキッズスクール」を開催し、小学生と保護者を対象に食や農の大切さを体験してもらった。【熊本市農業協同組合】	

施策2	地域の子育てサークル等でおやつを提供や、乳幼児期の食生活について話をを行った。【熊本市食生活改善推進員協議会】
	妊娠以前から、かかりつけ歯科医を持ち、定期的な受診を呼びかけるリーフレットを活用し、母子や家族の健康増進に関する知識の啓発を行った。【熊本市8020健康づくりの会】

2. 令和7年度からの関係機関・団体における新たな取り組み

具体的な内容等	
施策1	小学校高学年児童を対象とした、健康づくりの啓発媒体を作成。市町の教育委員会と連携した取組みを推進すべく検討・調整を行っている。【全国健康保険協会熊本支部】

3. 令和6年度の行政における主な取り組み状況

具体的な内容等	
施策1	学校保健員会に出席し、こどもの頃からの規則正しい生活習慣が将来の健康づくりにつながることの講話を実施している。
	校区の子育て支援ネットワーク会議や中央区管内子育てネットワーク会議で地域組織の子育て支援に関する連携に取り組んでいる。
	こども家庭センターにおける育児相談や幼児健診の相談、保健指導の強化を図る。
	こども家庭センターとして地域の子育て支援関係機関との連絡調整、連携、協働の体制作りを行う。
	子育て応援アプリを導入し、月齢に応じた健康情報や居住地の子育て支援情報等の提供を行う。
	熊本市結婚・子育て応援サイトにおいて、親子にやさしいお出かけマップや子育て応援団体によるイベント等の子育てに役立つ情報を発信した。
	小学4年生の肥満度20%以上の児童を対象に、市医師会と連携した小児生活習慣予防検診を10月～12月に実施し、355人(対象者の45.9%)が受診した。また3月には小児生活習慣予防検診を受けた児童とその保護者を対象に、小児生活習慣病予防検診説明会を実施した。さらに「健康手帳」と「生活習慣改善啓発パンフレット」を教育委員会が作成している。各学校に健康手帳及び生活習慣改善啓発パンフレットを配布し、肥満度20%以上の児童生徒や保護者等に保健指導を行うよう周知している。また就学時健康診断において全就学児保護者に「生活習慣改善啓発パンフレット」を配布し、生活習慣の確立を呼びかけている。
	幼児健診時に「早寝・早起き」等生活リズムについての啓発を実施。
	子育てサークルや中学校で、子どもの生活習慣・生活リズムについて健康教育を実施。(19回、201人)
	校区の子育て支援ネットワーク会の実施(8校区実施、延べ13回、延べ186名参加、) 西区子育て支援ネットワーク連絡会の実施(延べ8回、延べ94名参加、研修会開催1回)
	市民に対し、子育て応援マップ「るるらん」の配布と市ホームページの掲載を通じ、子育て支援ネットワーク活動の周知
	くまもと森都心プラザ「プラザ図書館」内に子育て支援施設「駅前子育てひろば」を設置し、医師・保健師・栄養士・歯科衛生士による健康教育や育児相談を実施。(8回 48組)
	学校のいじめ防止等対策委員会等に保健師が出席し、情報交換を実施。(4回)
	養護教諭との情報共有実施(13校区)
	区・校区子育て支援ネットワーク、学校保健委員会等において、こどもの生活リズム等について情報共有。
	子育てサークル等でこどもの生活習慣・生活リズムについて健康教育を実施。
	東区子育て支援ネットワーク連絡会の実施。
	特別支援学校の生徒を対象に、生命の大切さや妊娠・出産等について考える機会として健康教育及び体験学習を実施。
	学校保健委員会や1年生保護者に対し、基本的な生活習慣や朝ごはんの重要性等について講話を実施したり、養護教諭と健康課題について情報共有を実施
	子育て支援ネットワークにて、保育園・幼稚園・認定こども園・主任児童委員等と校区のこどもたちの健康課題について共有
	熊本市立保育園給食の食事計画評価とあわせて、身体状況・主食量調査を行い、肥満・やせ等の状況把握と個別結果に基づく啓発を行った。
	生活リズムや感染症予防、健康に関する情報について、「ほけんだより」や「食育だより」を発行し、保護者啓発を行った。
	在園児の心身の健康状態や疾病の把握のために、定期的に健康診断や身体測定等を行い、発育・発達に応じて保育を行った。
北区管内の小学校にて、野菜の旬や野菜摂取目標量について、啓発を行った。	

施策2	妊婦健康相談時に体の変化等の心身の健康保持に関する保健指導を実施し、妊婦健康診査の重要性を説明し受診勧奨を実施している。
	親子(母子)健康手帳交付時に早産予防および妊娠期の異常の早期発見・対応についての保健指導を行い、妊婦健康診査受診票を交付して定期健診の受診勧奨を行う。
	熊本市役所各課および関係機関が実施する出前講座の一覧を作成・周知することで、子どもの健康や子育てを支援している。
	母子手帳交付時保健師や栄養士等が面談し、妊娠期の健康づくりについて情報提供を行った。
	親子(母子)健康手帳交付時に妊婦健康診査の勧奨を実施
	妊婦健康相談時に体重管理や妊婦健康診査の重要性を説明し受診勧奨を実施。
	母子健康手帳交付時に保健師や管理栄養士が面接し、妊娠期の健康づくりについて情報提供を行った。
幼児健診時、生活リズムについて啓発した。	

4 ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり

取り組み項目	(2) 女性の健康づくり				
指標項目	33	若年女性のやせの減少 (BMI18.5未満の20歳～30歳代の女性の割合)	基準値	実績値	目標値
			R5	R5	R17
			16.8%	16.8%	13.5%
取り組み施策	概 要				
施策1 女性特有の疾患についての啓発	女性特有の疾患に関する情報提供を行い、健康的なライフスタイルを推進す				
施策2 骨粗鬆症についての啓発	骨粗鬆症についての周知啓発や、骨密度検査の勧奨等の啓発に取り組む。				
施策3 妊娠中や授乳中の飲酒の防止	※【再掲】1(4)施策4				

1. 令和6年度の関係機関・団体における主な取り組み状況

具体的な内容等	
施策1	事業所向けセミナー(出前講座)の実施。【全国健康保険協会熊本支部】
	事業場の産業保健スタッフ等を対象に、女性の健康問題に関する研修会を実施。【熊本産業保健総合支援センター】
	講座等の機会に、健診の受診率等について啓発する。【熊本市食生活改善推進員協議会】
施策2	被扶養者を対象とした特定健診の集団健診において、骨密度検査を実施した。(一部会場では無料オプションで実施)【全国健康保険協会熊本支部】
	会員も高齢であるので、まずは会員への骨粗鬆症の予防と転倒等への注意を呼びかける。また講習会等の参加者への骨粗鬆症の啓発と転倒等の注意を呼びかける【熊本市食生活改善推進員協議会】

2. 令和6年度の行政における主な取り組み状況

具体的な内容等	
施策1	<p>所外栄養講話時、小学生の保護者向けに食事バランスや朝食の大切さについて啓発を行った。</p> <p>校区民生委員児童委員協議会定例会、8020推進員・食生活改善推進員の育成講座、校区単位の健康まちづくりの取組等を通して、骨粗鬆症の予防等に関する情報提供を実施。</p>
施策2	<p>まちづくり推進経費を活用し若い世代からの骨粗鬆症についての周知啓発(骨密度測定の実施)</p> <p>・骨密度測定:8回 253人</p>
	<p>幼児健診受診者の保護者を対象とした骨密度測定と啓発の実施(2回79人)</p>
	<p>幼児健診で、保護者を対象に骨粗しょう症予防の食事に関する情報提供を実施。</p>
	<p>地域における骨粗鬆症予防の啓発・骨密度測定の実施</p>
	<p>骨粗鬆症予防教室の実施</p>
	<p>離乳食教室や子育てサークル等で若い世代の女性に向けて骨粗しょう症予防についての啓発を行った。</p>
	<p>「体を知る日スペシャル」として骨密度測定を行い、生活習慣の指導や受診勧奨を実施。</p>
	<p>幼児健診時(2歳半)、保護者向けに骨粗鬆症予防のチラシを配布し啓発を行った。</p>
	<p>区役所において女性のための「食育実践講座」の開催。(7回122名)</p>
	<p>骨密度測定実施医療機関一覧作成し、ホームページでの公開など周知啓発を行った。</p>
<p>骨密度測定やFRAXツールを通じて、イベントの場で骨粗しょう症・骨折予防の啓発を行った。</p>	

4 ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり

取り組み項目	(3) 働き盛り世代の健康づくり
指標項目	2 運動習慣者の増加【再掲】
	4 睡眠を十分にとっている市民の増加【再掲】
	5 ストレスをためないよう気分転換を図っている市民の増加【再掲】
	21 特定健康診査の実施率・特定保健指導実施率の向上【再掲】
取り組み施策	概 要
施策1 若い世代からの健康意識の醸成	行政、地域住民、保険者、民間企業等が連携を図り、働き盛りの若い世代やそれよりも若い世代への健康に関する普及啓発を行う。
施策2 生活習慣病の早期発見・発症予防	関係機関が連携し、特定健康診査やがん検診等の必要性や受診方法等について、分かりやすく情報提供する。
施策3 働き盛り世代のこころの健康	精神的な不調や悩みについての相談や、精神疾患に関する正しい情報提供を行うとともに、かかりつけ医と精神科医による連携を強化する。

1. 令和6年度の関係機関・団体における主な取り組み状況

具体的な内容等	
施策1	節目検診を通して働き盛り世代の健康増進を図る【熊本市歯科医師会】 (協会けんぽスモールチェンジに協力) 県歯科医師会と連携、協会けんぽスモールチェンジ生活支援プログラムにおいて、歯周病の最大のリスク因子である喫煙について、生活習慣病予防を目的とした歯科保健指導のなかで、禁煙指導を実施。【熊本県歯科衛生士会】
	(熊本県職員歯科健康診断事業) 熊本県職員歯科健康診断事業・事業所歯科健診で、歯科医師による診断結果を、受診者に説明し、定期歯科健診の受診勧奨を行う。【熊本県歯科衛生士会】
	行政、関係団体とのイベントなどで、口の健康は全身の健康につながることを会のリーフレットを活用し、かかりつけ歯科医を持ち、定期的な受診で歯周病予防やむし歯予防などの健康に関する啓発を行った。【熊本市8020健康づくりの会】
	イベント等で体力測定を行い、体力の維持増進を図る為の説明を行い、健診の方向につないだ【東区代表】
	熊本商工会議所等と連携し、会報誌への健診受診の記事を掲載。【全国健康保険協会熊本支部】
施策2	事業所毎に健診受診率、特定保健指導実施率等の目標値を掲げる健康宣言を推進。6年度末時点で宣言を行った事業所数は約3,300事業所。【全国健康保険協会熊本支部】
	事業所向けセミナー(出前講座)の実施。【全国健康保険協会熊本支部】
	定期健康診断結果を反映した生活習慣病予防等の健康保持増進を指導【熊本労働基準監督署】
	事業場の産業保健スタッフ等を対象に、生活習慣病に関する研修会を実施。また、50人未満の事業場については地域産業保健センターより健康診断後の有所見者に対する医師の意見聴取や保健指導を実施する。【熊本産業保健総合支援センター】
事業場の産業保健スタッフ等を対象に産業保健に関する研修会、また事業場からの要請による個別訪問を実施し心身の健康についての教育、保健指導等支援を実施。【熊本産業保健総合支援センター】	

施策3	熊本産業保健総合支援センターと連携した同センター相談窓口の周知広報。【全国健康保険協会熊本支部】
	事業所向けセミナー(出前講座)の実施。【全国健康保険協会熊本支部】
	事業場におけるストレスチェックの確実な実施を監督指導【熊本労働基準監督署】
	「熊本こころの健康アドバイザー制度」の周知と利用勧奨【熊本労働基準監督署】
	事業場の産業保健スタッフ等を対象に、メンタルヘルス対策に関する研修会や情報提供を実施、また事業場からの要請による個別訪問を実施し若年労働者向けのメンタルヘルス対策の教育や管理監督者向けに体制づくり、部下のメンタル不調に対する予防法等のメンタルヘルス対策の教育支援を実施。【熊本産業保健総合支援センター】

2. 令和7年度からの関係機関・団体における新たな取り組み

具体的な内容等	
施策1	熊本市中学校家庭科教員を対象に郷土料理の講習会を実施【熊本市食生活改善推進員協議会】

3. 令和6年度の行政における主な取り組み状況

具体的な内容等	
施策1	校区単位の健康まちづくり事業を通し、地域組織会議や地域イベント等で健康づくりの啓発・健康相談を行った。
	熊本市役所各課および関係機関が実施する出前講座の一覧を作成・周知することで、生活習慣病予防を支援している。
	地域の会議や健康教育等において、がん検診や特定健診の受診勧奨を実施。 (がん検診31回・378人、特定健診38回・972人)※再掲
	地域における健康づくりに関する啓発
	企業等の従事者等(働き世代)を対象に口腔ケア及び生活習慣病等に関する啓発事業(講話、歯磨き指導等)を実施。11月7日富合小1年保護者26名、11月19日南区懇話会委員29名、11月26日飽田東小保護者45名を対象に開催。(南区)
	校区単位の健康まちづくり事業を通し、地域組織会議や地域イベント等で健康づくりの啓発・健康相談を行った。
	食育月間に区役所ロビーにてパネル展示やレシピの配布等を行った。また北区管内の図書館(室)と連携して野菜をテーマにした企画展を開催した。
施策2	「熊本市北区発！農家めしプロジェクト」として、北区の農家の方に野菜レシピを紹介してもらい北東部農業振興センター、植木まちづくりセンターと連携し野菜の普及及び摂取促進の啓発を図った。
	体を見直すきっかけとして行っている「体を知る日」を、昼休みを含む時間帯で開催している。
	CKD対策推進会議にて保険者・民間企業等での取組を共有し、働き盛り世代への健康に関する普及啓発の促進を図った。
	校区単位の健康まちづくり事業を通し、地域組織会議や地域イベント等でのがん検診に関する啓発を行った
	九州森林管理局での栄養講話の実施及び健診受診の勧奨
	幼児健診時等の待ち時間を活用した啓発動画の視聴により、子育て中の若い世代をターゲットに西区の健康課題や健康情報の発信を行った。
	まちづくり推進経費を活用した動画作成及び西区チャンネルでの配信を行い西区健康課題の区民への周知及び若い世代からの生活習慣病予防の啓発を行った ・動画再生回数:762回(R7.3月末時点) ※再掲
施策3	地域における特定健診・がん検診の啓発・受診勧奨
	校区単位の健康まちづくり事業を通し、地域組織会議や地域イベント等でのがん検診に関する啓発を行った
	校区民生委員児童委員協議会定例会等の会議、育児サークル、PTA、保護者会、校区単位の健康まちづくりの取組等を通して、特定健診やがん検診の受診啓発を実施。
施策3	心の健康相談を1回/月実施。(精神科医による予約制の個別の面接相談等)

4. 令和7年度からの行政における新たな取り組み

具体的な内容等	
施策1	「ヘルシーライフチャレンジ」事業で、40歳未満の方へ正しい生活習慣の普及のための調査研究を企業と大学と行政で連携し行っている。
施策3	市民へのこころの健康の啓発として、講演会の開催やパンフレット配布、市政だより、ホームページを活用した啓発、市民へのこころの健康づくり講演会を実施(1回 参加者18人)。

4 ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり

取り組み項目	(4) 高齢者の健康づくり					
指標項目	34	65歳以上の元気な高齢者の増加 (65歳以上の人口のうち要介護・要支援の認定を受けていない者の割合)	基準値	実績値	目標値	
			R5	R6	R8	
				79.51%	79.43%	79.91%
	35	社会活動を行っている高齢者の増加 (住民主体の通いの場(定期的に介護予防活動等を行うための場)の数)	基準値	実績値	目標値	
			R4	R6	R8	
				768	841	876
36	ロコモティブシンドローム(運動器症候群)を認知している市民の割合の増加	基準値	実績値	目標値		
		R5	R5	R17		
			50.1%	50.1%	80.0%	
取り組み施策	概要					
施策1 高齢者の健康づくり	医療機関、その他の専門職、地域団体やボランティア等と連携し、高齢者の健康増進を図る。					

1. 令和6年度の関係機関・団体における主な取り組み状況

具体的な内容等	
施策1	(自立支援型地域ケア会議) 専門職として、歯と口腔の健康維持、改善に対して助言を行う。【熊本県歯科衛生士会】
	(熊本市ささえあい型B事業 出水南地区ふれあい交流会) テーマ お口と歯の健康 オーラルフレイル予防を目的としたお口の健康講座を実施。【熊本県歯科衛生士会】
	(ささえりあ幸田健康講座) テーマ オーラルフレイルを知っていますかのお口の健康講座を実施。【熊本県歯科衛生士会】
	歯の祭典などのイベントで技工物の相談を通じてメンテナンス方法などのアドバイスを実施した。【熊本市歯科技工士会】
	健康活動等を通しエビデンスに基づいた効果的なフレイル予防や認知症予防等の介護予防の充実と推進を図る【熊本市地域包括支援センター連絡協議会】
	通いの場の継続や創出を行い積極的な社会参加を促し活動性を向上させすことで、元気高齢者の増加や健康まちづくりの担い手の創出を図る。【熊本市地域包括支援センター連絡協議会】
	自立支援型地域ケア会議にて、地域包括ケアシステムの構築と深化のため、医療・保健と介護・福祉の連携を図り、個人のマイクロから地域のマクロまで、自助・互助へ働きかける。【熊本市地域包括支援センター連絡協議会】
	事業所向けセミナー(出前講座)の実施。【全国健康保険協会熊本支部】
	事業場の産業保健スタッフ等を対象に、50歳を超えてからの健康づくりや転倒リスク回避のための強化法、健康不調を予防するセルフケアのやり方等の研修を実施。【熊本産業保健総合支援センター】
	地域の高齢者サロンでの食事の話や男性料理教室等を開催し、食育を推進した。【熊本市食生活改善推進員協議会】
	地域での高齢者サロンや老人会などで、口の健康は全身の健康につながることを伝え、唾液腺マッサージや口の体操を行った。よく噛むことで口や舌の口腔機能向上により、元気で楽しい生活をおくれることを伝えた。【熊本市8020健康づくりの会】
	JA熊本市管内、13グループによるミニデイサービスを行った。【熊本市農業協同組合】
	ささえりあ帯山が校区、町内とともに地域サロンなどで生き生き百歳体操を実施 ささえりあ帯山が地域、保健こども課と連携し高齢者健康づくりのため講話や啓発を実施 認知症サポーター養成講座などの機会に、社会参加の大切さについて伝え、要望のあった人には社会参加のマッチングをとり組む【中央区代表】
高齢者サロン、通いの場、イベント等で定期的に体操や体力測定を行い、社会のつながりの必要性について説明した。転倒防止のための筋肉の維持増を都度説明した。【東区代表】	

2. 令和7年度からの関係機関・団体における新たな取り組み

具体的な内容等	
施策1	短期集中予防サービスを開始し、介護予防に寄与する【熊本市歯科医師会】
	医療機関や事業所専門職種と連携し、サロンや通いの場での健康づくりや介護予防講話にて、健康づくり・介護予防の推進【熊本市地域包括支援センター連絡協議会】
	地域の高齢者へ、行政との協力のもと一般介護予防事業や地域支え合い型サービスの利用促進と通いの場の立ち上げ支援及び、地域の担い手の促進【熊本市地域包括支援センター連絡協議会】
	自立支援型地域ケア会議や課題型地域ケア会議にて地域課題の抽出から対応の検討による地域包括ケアシステムの深化にて地域力の向上【熊本市地域包括支援センター連絡協議会】

(参考) 関係機関・団体における**感染症**に配慮した取り組み

感染症に配慮した の取り組み内容 ※再掲	<ul style="list-style-type: none"> ・従来通りのスタンダードプレコーションにて対応【熊本市歯科医師会】 ・現状、コロナ感染も増えており、高齢者の致死率もインフルエンザの10倍と余談は許せないため、今後も熱中症対策+コロナ対策を訴えています。【熊本市地域包括支援センター連絡協議会】 ・手洗い・うがいの必要性をその都度説明した【東区代表】
----------------------------	--

3. 令和6年度の行政における主な取り組み状況

具体的な内容等	
施策1	高齢者の転倒・骨折を予防するため、自宅でも取り組める運動や口腔、栄養、薬剤に関する情報を掲載した「コツコツ身(巳)になる！運動手帖-転倒・骨折予防編-」を作成し、配布した。
	ロアツ熊本の協力のもと、運動の専門職が監修するトレーニングプログラムを考案し、50歳以上を対象とした健康教室を公民館等で開催した。(参加数:482名)
	地域において高齢者の積極的な健康づくりや介護予防への取り組みとして「介護予防サポーター」を養成し、ボランティア活動を推進した。(サポーター数:450名(令和7年3月31日時点))
	住民主体で取り組む活動の場であり、主に65歳以上の地域住民が誰でも通えて運動ができる「くまもと元気くらぶ」の立ち上げや活動費を支援した。(くまもと元気くらぶ団体数:82団体(令和7年3月31日時点))
	住民主体の活動である通いの場において介護予防を継続的に取り組むため、リハビリ専門職を派遣し、より効果的な活動と充実が図れるよう支援した。
	運動機能や口腔機能、栄養状態の低下等が認められた方に対し、リハビリ専門職等による支援を約3か月実施し、集中的アプローチにより維持・改善を図った。(R6年度利用者:延べ406人)
	集合形式やオンライン形式による認知症サポーター養成講座を開催し、6,854人の認知症サポーターを養成するとともに、認知症サポーター及び認知症の人等で構成されるチームオレンジの立ち上げ(3団体)を支援した(団体数:6団体(令和7年3月31日))。
	「認知症の人と家族の会」に認知症コールセンターの運營業務を委託し、認知症の人や家族からの相談を受け付けた。(R6年度:1,273件うち熊本市:738件)
	熊本県と共同で、熊本県内の医師・歯科医師・薬剤師を対象とした認知症対応力向上研修を開催し、認知症の方が地域で必要な医療を受け、その地域で暮らし続けられるよう支援した。
	高齢者サロン等で、介護予防やロコモ等の健康教育を実施
	市民向けのセミナーを開催し、自立支援・重度化防止の啓発を行った。
	高齢者の自立支援・重度化防止に資するケアマネジメントの普及を目的として、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所等を対象とした研修会を開催した。(4回)
	リハビリテーション専門職を、高齢者の自宅やサービス事業所等に派遣し、介護支援専門員が行う自立支援型ケアプラン作成に向けた支援や、サービス事業所における自立支援を目指した取り組みの促進を行った。(自立支援型ケアプラン作成支援事業)
	熊本市役所各課および関係機関が実施する出前講座の一覧を作成・周知することで、高齢者の健康を支援している。
	熊本市役所各課および関係機関が実施する出前講座の一覧を作成・周知することで、介護予防を支援している。
	熊本市役所各課および関係機関が実施する出前講座の一覧を作成・周知することで、認知症への理解促進を支援している。
高齢者サロン、老人会、会議等で口腔機能維持・栄養指導や運動(ロコモ予防)について健康教育を実施。(介護予防・ロコモ等:29回 656人、骨粗しょう症:32回 608人)	
河内・芳野校区のローソン移動販売車にたんぱく質摂取を促す啓発ステッカーを貼り、高齢者の低栄養予防の啓発を実施。	
地域における介護予防・ロコモティブシンドローム予防・フレイル予防の啓発	

	高齢者サロン等で、介護予防やロコモ等の健康教育を実施
	出前講座にて、フレイル予防や骨粗鬆症予防のための食事について啓発を行った。
	校区民生委員児童委員協議会定例会等の会議、校区単位の健康まちづくりの取組等を通して、要介護状態にならないための生活習慣病予防について啓発。

4. 令和7年度からの行政における新たな取り組み

具体的な内容等	
施策1	ロアツ熊本が実践しているトレーニングを参考に開発した運動プログラムを活用した健康教室について、参加対象年齢を「50歳以上」から「40歳以上」に引き下げた。

その他 市民の『健康づくり』のために取り組んでいる内容

1. 令和6年度の関係機関・団体における主な取り組み状況

取り組み状況等

(市民公開講座の開催)

家庭でできる「食育」セミナー「食べることは生きること」～賢く食べて歯を衛ろう～を開催。栄養を摂るには口腔が重要であることを講演してもらい、口腔機能の重要性の普及啓発を行う。【熊本県歯科衛生士会】

(市民向け技工物の展示会と相談会)

技工物の展示を行い、技工物に対する知識をつけた。
また、相談会を行い、注意事項をアドバイスをおこなった。【熊本市歯科技工士会】

小萩山登頂を目指し、往復約7.5kmを歩く登山イベントを西里小で実施。地域の方々と交流を取りながら、健康と地域のつながりを実感する場となった。【熊本市PTA協議会】

校区で実施される健康まちづくりのイベントに協力した。【熊本市食生活改善推進員協議会】

市役所ロビーにおいて、市民へ歯と口の健康づくりについての啓発や8020推進員の活動や推進員募集の周知のために会のポスターなどを展示した。【熊本市8020健康づくりの会】

2. 令和6年度の行政における主な取り組み状況

取り組み状況等

「歯っぴー事業」

- ・パンフレットを活用して歯の健康について説明を行い意識向上を促していく
- ・相談時、必要に応じて保護者へ情報提供を行う